

# 横山家

## 北海道・江差町



横山家は、天明6年（1786年）現在地において漁業、商業、回船問屋を営み、現在まで200年以上続いている旧家で、現在も8代目が住んでおり、数多くの生活用品が残されている。建物はウナギの寝床形式で、入口から帳場、居間と続き、通り庭を通る人がよく見えるための横座がある。倉は1番倉から4番倉まであり、倉に雪や風から守るための「のざや」という屋根がかかっている。

昔は非常に火事が多く、防火用のわらじ、飛び口、ポンプ、バケツ等がたくさん残されており、火事のお金を持って逃げるための桐でできた背負い金庫なども現存している。

横山家では明神丸という船を持っていた。北前船は大きいので沖に停泊させ、小さな船に荷物を移して、はね出しまで荷物を運んでいた。

昭和38年（1963年）北海道の有形民族文化財に指定。

### TOPICS

- ・活！江差海鮮みなとイカ刺し祭り・かもめ島まつり 7月第1金・土・日曜日 開催
- ・江差姥神大神宮渡御祭 8月9・10・11日 開催
- ・江差追分全国大会 9月第3金・土・日曜日 開催

### お問い合わせ先

江差観光コンベンション協会事務局

TEL / 0139-52-4815

### 【交通】

バス / JR江差駅から約5分

徒歩 / JR江差駅から20分

